

# 学力向上推進プラン

青梅市立第七小学校  
令和7年5月1日

< 学校の教育目標 > □ 仲良く助け合う子 □ 進んで学習する子 □ じょうぶな体をもつ子  
< 目指す学校像 > □ 思いやる □ 創造する □ 共生する 『おそき』の学校

## 学力の分析

本校は児童数が少ないので、全国や都の学力調査の結果だけから、児童の学力を経年的にとらえるのは難しい。そこで、年度末に学校独自の学力調査も行い、分析的にとらえている。また、児童の実態やアンケートの結果などから、本校の学力向上の重要な要素を見つけることで、学力の分析を数値だけに頼らず、多面的に分析する。

本校の強み	本校の課題
<p>R6年度の全国学力状況調査の結果は、国語・算数ともに全国および東京都平均よりかなり高い。また、「授業の内容はよくわかりますか。」という質問に対して、国語、算数ともに90%の児童が肯定的な回答をしている。基礎学力となる知識・技能に加え、その基となる授業中の理解度も高い児童が多いと考えられ、少人数を生かしたきめ細かな個別対応が功を奏している。</p> <p>さらに、国語科の校内研究において同じ講師による8年間の系統的な「読み」の実践を重ねたことで、文章を正確に読み取り、そこから「書く」力もついてきた結果、記述式の問いに対する回答率も上がった。</p> <p>今後これまでの成果をもとに、より見通しをもち、振り返りながら学習を深められる児童の育成を目指す。</p>	<p>・ <b>下位層の引き上げ</b>：支援を要する児童への対応を、学力向上という点からも見直すとともに、少人数を活かした授業展開の工夫に加え、個別の課題に合わせた支援が必要である。さらに、特別支援教育との学習面での連携強化を進める必要もある。</p> <p>・ <b>既習事項の活用</b>：「前時までに学習した内容と結び付けて考える時間がある」が徐々に向上している。既習事項を活用する力は、主体的な学びにも関わる力であるため、引き続き、振り返り等を十分取り入れた授業展開を進めていく。</p> <p>・ <b>多様な見方、考え方</b>：本校は少人数のため、多面的な意見が出にくい環境にある。一人一人が多様な見方・考え方ができるような教師の発問、授業展開の工夫を進め、より深い学びに繋げる必要がある。また、自力解決の時間をしっかりと確保し、自己調整力につなげていきたい。</p>

**目指す児童像**  
(校内研究テーマ)  
**「自ら考え、みんなで学ぶ子供の育成」**  
～小規模性・地域性を生かした授業づくり～  
各教科 課題別分科会

**七小の考える学力**  
(子供たちに身に付けさせたい力)

- ・ 基礎学力の定着
- ・ 楽しく自ら進んで学ぶ力 (主体的な学び・個別最適化)
- ・ 顔を突き合わせて学び合う力 (対話的な学び・協働化)
- ・ 物事を多面的に思考し表す力 (深い学び)

**青梅市学力向上5カ年計画**  
～勉強好き、青梅好きな子の育成～  
**「継続」「定着」「追究」**  
視点「力のつく授業」  
「学ぶ意欲のわく授業」

## 七小学力向上プロジェクト

### プロジェクト① 「授業力向上・授業改善」 (校内研究の充実)

- ・ 研究授業及び協議会 (各教科 課題別分科会)
- ・ 教員同士による事前の模擬授業及び協議会
- ・ 研究テーマに合わせた講師の年間を通じた招聘
- ・ ICT端末、電子黒板の活用 (学びの共有化)

### プロジェクト② 「家庭学習の定着」

- ・ 家庭学習週間 (六中テスト期間) の設定と活用
- ・ 家庭訪問に「七小家庭学習のススメ」を持参し周知
- ・ ICT端末の効果的な利用 (学びの個別最適化)
- ・ 健康増進に向けての啓発 (早寝・早起き・朝ごはん)

### プロジェクト③ 「基礎学力の定着」

- ・ さわやかタイム (朝学習)
- ・ 言語活動、読書活動の充実
- ・ デジタルドリルの活用
- ・ 七小算数オリンピック
- ・ 数検、漢検、校内学力テスト
- ・ 全国学力・学習状況調査
- ・ 放課後学習教室の活用 (ステップアップクラス)

## 社会情動的スキル (非認知能力) の向上

- ・ 人との関りの中でコミュニケーション能力を中心とした非認知能力の育成
- ・ スタートアップカリキュラム及び「架け橋期」充実のため、保育士・教員合同での交流会や研修会の開催 (幼保小連携) 及び合同音楽会や避難訓練・合同研修会による六中との小・中連携の推進

## ○七小の学力を支える特色ある教育活動

- ・ 清掃や集会、学校行事などでの異年齢集団による活動や交流活動の充実と日常的な児童相互の人間関係の醸成
- ・ サーキットトレーニング、体育学習カード、マラソン・縄跳び月間等による日常的な体力づくりの推進
- ・ 命を大切にすると豊かな感性を培うための植栽飼育活動の充実と環境教育の推進 (ピオトープ・黒沢川の活用)
- ・ 学校と地域が一体となった教育活動や地域学校共同活動の充実と活性化 (コミュニティ・スクールの推進)